

第13号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059 FAX. 03(3814)0583
メール. shigeru@matsu-shin.jp

編集責任者 松沼 茂
発行責任者 野口昇兵

白門文京

平成二十七年定時総会 蓮池薫氏講演「拉致と決断」

平成二十七年七月二十六日(土) 東京文京区支部第二十二回定時総会を東京ドームホテル後楽園飯店で開催し、約七十名が出席しました。

第一部の総会では、平成二十六年事業報告及び収支決算、平成二十七年事業計画及び収支予算について審議し満場一致で可決しました。

第二部では、中央大学法学部卒・蓮池薫先生(新潟産業大学准教授)による講演会「拉致と決断」を開催しました。本講演を聴講のため、来賓・他支部などから大勢出席いただき大変な盛り上がりとなりました。(講演内容は3頁)

そして講演会の後は記念写真を撮り、第三部の懇親会となりました。

来賓の方は、中央大学理工学部長石井靖様、本部学員会副会長大木田守様、42年白門会様、源氏会様、出版白門会様、箱根・神宮応援団様、練馬区支部様、台東区支部様、新宿白門倶楽部様、江戸川区支部様、中野区支部様、北区支部様、杉並区支部様、港区

支部様等多数の方々にご出席いただきました。
文京区支部長・野口昇兵のあいさつの後、後楽園飯店の



蓮池薫氏を囲んで記念撮影

豪華中華料理の前にビールで乾杯し、会員相互の親睦を図りつつ、来賓の皆様からは各々自己紹介・祝福の言葉をいただきました。最後は中央大学応援団長・山崎理桐君の音頭によりエール・中央大学校歌を合唱し、盛会の内に閉会となりました。

総会への

お祝い電報

- 自由民主党副総裁 高村正彦先生
- 拉致担当大臣 山谷えり子先生
- 中央大学理事長 深澤武久先生
- 中央大学総長学長 酒井正三郎先生
- 中央大学学員会 会長 久野修慈先生
- 中央大学準硬式野球部 池田浩二監督
- 中央大学水泳部 高橋雄介監督
- 佐渡市 曾我ひとみ様
- すしざんまい社長 木村 清様
- 日本相撲協会 片男波部屋 片男波良二親方
- その他大勢の方からお祝いメッセージを頂きました。

平成26・27年度役員 名誉会長

大久保治男
会長(支部長)
野口 昇兵

副会長(副支部長)
倉田金三郎 浮田 秀則

久代 信次 戸井田ひろし

相談役
田中 祺益 土屋 頼子

飯田 庸治

幹事長(事務局長)
松沼 茂

副幹事長
加藤 康人 相場 有二

田村 悟 鈴木 雅幸

監事
大根田昌生 亀谷 卓夫

幹事
浅井 誠一 大野 雅樹

大和田 實 小川 祝

奥野 光績 桂 やまと

菊池 靖雄 島崎 修

染野 郁郎 竹本 方英

玉井 三郎 利根川伸行

松田 茂 宮崎 治子

山田 伸吾

学校法人中央大学評議員
野口 昇兵 松沼 茂

学校法人白門奨学会評議員
松沼 茂

学校法人中央大学商議員
大久保治男 田村 悟

中央大学学員会幹事
相場 有二 松沼 茂

中央大学学員会協議員
大久保治男 久代 信次
野口 昇兵 田村 悟

第五代支部長に選出され、一年余り経ちました。思うに我が支部の会員各位は心温まる人達の集いである事を感じました。



人間生活での第一は互いに尊敬し、認め合う心が大切であります。我が支部には職業は互いに異なると雖も、言葉で表せられない、目には見えない空気感があります。会っ

た時、先輩達の後輩達への対応、現状の良くも悪くも話される度量の深さ、会員のご家族の参加等々、思うにこれは「伝統が醸し出す美学」と

るに他ならないと思います。会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。昨年「東京ドーム野球観戦、隅田川屋形船、伊勢志摩

就任一年にして思うこと

第五代支部長 野口 昇兵

もいえるのでしょうか。田中祺益氏、大久保治男氏、中川浩治氏の先輩支部長の薫陶の「足跡」と、母校中央大学「建学の精神・実地応用の素を養う」が脈々と受け継がれてい

旅行、東京競馬、忘年会、六義園お花見」等々会員相互の親睦は素晴らしいものであります。また学員会支部教ある中で、我が文京区支部が「支部報コンテスト」にて佳作の

栄に浴しました。松沼事務局長他編集委員の熱意の結晶であります。本当にありがとうございます。大学は学生の減少で苦闘していますが、教学の自身の充実こそがキーワードであります。創立者の精神に思いを馳せれば自ずと解けます。学員一人ひとりが年収の〇・一%でも最低限、連続して母校へ寄付をすれば十数億円となります。学員全員は母校の発展のため、母校の現状に即した助言協力こそが真の学員会員だと思えます。文京区支部会員の皆様、来



平成二十六年三月、五十四年間に渡る大学教職生活において、最後に創設した、武蔵野学院大学大学院博士後期課

程の完成を俟って（初代大学院研究部長）私は大学を退職しました。八十歳になります。回想すれば、中大大学院修了

と同時に昭和三十七年四月、創立に参加し助教として赴任した山梨学院大学をスタートに、専任大学は山梨県立大、駒澤大学法学部・大学院、苦

大学で教えるのが大好きで、非常勤も中大、上智大、山梨大、帝京大、国士舘大、創価大、川村女子大等でも講義。教え子は約六万人に及びその

平成二十六年叙勲 『瑞宝中綬章』の栄に

元支部長 大久保治男

の整理・研究を行っています。たところ、秋の叙勲にて、はからずも「瑞宝中綬章」拝受の栄に浴しました。長年の大学における教育、研究、大学行政・大学創設、特に苦小牧駒大の市との公私協力大学（二十年に渡る市民の要望の実現）の初代学長の功績等が評価され叙勲に至ったようであります。いずれにしても私立大学関係者は受賞が少ない中で高位の勲章をいただいたことは嬉しい我が人生のフィナーレでありました。十一月十日、国立劇場での

文科大臣より勲記・勲章の伝達を受けて、引き続き妻と共に皇居へ参内して天皇陛下に拝謁の栄を賜り、感激の極みでございました。今後はこの榮譽に恥じることのないよう一層精進致す所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。昨年末、十二月九日夜、東京ドームホテルでの「文京白門会」忘年会では私の受勲を皆さんで祝っていただき、お祝いの「旗」や「提灯」各二つを頂戴し厚く御礼申し上げます。有難うございました。



代表取締役 **矢野 博文**

株式会社 **大創産薬**

〒739-6501 広島県東広島市西条吉行東1-4-14
TEL.0829420-0003 FAX.0829421-2740

年は創立二十周年を迎えます。さらに充実した会として未来に向って歩んで参りましょう。

このように先輩方の前で話すことを光栄に思っています。私の日朝交渉について思っていることをお話しした後、おそらく皆さんも疑問に思っていることについて、掴んだ資料や私が調べた結果をお話しさせていただきます。

北朝鮮が調査の途中だと言っているのは全くのウソです。拉致被害者というのは当局が管理下においていますので、どうなっているのかというのは調べたことでもありません。今更調査というもおかしな話ではありませんが、いま認定されている拉致被害者は十七人で、帰ってきた我々五人を除くと十二人。北朝鮮はいったん八人死亡、四人は未入国と言った。これはトップの発言なので、今日明日突然、掌を返すように実は生きていましたというわけにはいかない。いろいろ調べた結果、亡くなつたと言ったけれど生きていたと言わせるキツカケを与えるための再調査、日本側のそういうものだと考えていただければいいかなと思います。ただ、北朝鮮は拉致問題を最後のカードにしている。

からの大きな見返りが確実に手に入るという段階でないとなかなか出してくれない。その見返りとは、二〇〇二年に合意の日朝国交正常化と一兆円といわれる日本からの経済援助が最終目標です。日本が出すカードではなかなか動きづらい。私としては被害者の立場、家族の立場からすればこの問題を北朝鮮がもっと誠実に対応すれば日本はもっと大きな見返りを出すぞというカードを是非見せてほしいと思う。

特別講演 『拉致と決断』

蓮池薫氏講演（要旨）



一つ問題は、アメリカが日朝国交正常化に伴う大規模な経済援助に反対するでしょう。日本の援助が核開発に回されるという不安も非常に強いので、例えば生活インフラの整

備を日本の企業がやってやるとかいろいろの方法があると思うので、知恵を絞って北朝鮮が決断するような方向に持って行ってほしいというのは、常々私がお願いしているところです。

次に拉致についてですが、金正日総書記は小泉さんに会った時に「私は知らなかった。部下が勝手にやった。連れてきて語学の教育に必要だった」と言っているが、私が見る限りウソです。去年の十二月の

アメリカの新聞に、一九七七年金日成総書記が調査部という秘密情報特殊機関の幹部を呼んで「海外から外国人を連れてきて五年間くらい教育をしたあとスパイに利用しろ」と。その対象国は東南アジア、中近東、東ヨーロッパから若い女性を連れてきて教育しろという指示をしたという記事が掲載されました。私も向うで感じましたけれど、その範囲が日本にも拡大した。その結果、私が拉致された時期の一九七七年の六、七、八月の間に日本から少なくとも九人

が、レバノンから五人、タイ、ルーマニア等からも多くの人が達が一挙に拉致されました。北朝鮮はこれらの人間をじっくり教育したあと、自分達の人間に仕立て上げて海外に派遣して情報活動、破壊活動、秘密工作等をさせることが目的だったことが明らかになったという内容の記事でした。

ですから、海外は別として鳴り物入りで突然人がいなくなったという噂がたつたらその作業員を使えないわけですから、いなくなつたかどうかもわからない状況で拉致する。一番いい方法としては、海辺にいる若い人をつかさらっていく。調査部というところの

作業員、補助組織の作戦部つまり作業員をサポートする戦闘員がいる作戦部、その作業員一人と実働部隊戦闘員四、五人が一グループとして、先ずは福井県の小浜、柏崎、佐渡、鹿児島、更に未遂に終った石川県高岡に派遣された。私と家内の柏崎では、五、六人が海から侵入しました。いきなり暴力で襲われ、沖合いの船で二日間かけて北朝鮮へ連れていかれた。一緒に拉致された家内の消息もわからな

という作業員養成のアジトに入れられた。ここでの教育はなかなか受け入れられなかったが、三、四か月もすると、もうしようがないと諦めて朝鮮語の勉強にも身を入れた。

拉致されて一年三か月後くらいに同じように教育中のレバノン女性五人のうち二人が研修中の海外で逃亡に成功した。レバノン政府から猛烈な抗議を受けた結果、残りの女性たちも返さざるをえなくなつた。それで若い人達を作業員にしようという目論見はいったん中止に。そして監視が強化され、逃亡防止のため結婚させようという方針になった。私は一年九か月ぶりに家内と再会し結婚しました。

その後、大韓航空機事件での失態、東欧諸国、ソ連の崩壊があり、北朝鮮は大打撃を受けた。九〇年代頭から米、韓、日本との関係改善を図るようになつたが、九四年に金日成が死亡。経済が更に悪くなつて北朝鮮は大変な時代でした。私はひもじい思いはしなかつたが、子供たちはえらくひもじい思いをしました。二〇〇二年、じいーと隠れていた金正日総書記が大きな決断をします。（次頁へ続く）

蓮池薫氏講演『拉致と決断』

講演要旨Ⅱ 続きⅡ

金正日総書記は、相当新しい時代にするためには日本と交渉するしかない、日本との交渉をもう一度やるぞという話になったのです。二〇〇二年三月、我々の招待所に幹部がポーンとやってきました。何か偉い人が君達を世界に公表、公開しようと思うのだがどうだ、と言ってきた。意味がわからないと言うと「実は日本はどうやらあなたたちを捜しているようだ。だから、あなたたちが日本のマスコミと政府の代表団を呼んで、その前で我々はここで幸せに暮らしていますと。蓮池薫はこ



蓮池薫氏の貴重な体験を聴く

こにいますと公表するのだ、そうすれば日本は納得して国交正常化、経済援助へと進んでいく。君たちにそれをやってもらおう」と。もう命令ですよ。今まで家族とは全く連絡もとれなかったが、公開されれば家族もわかるわけですから、じゃあわかりましたというふうになった。但し、拉致というのは困る、漂流していたのを救助されたことにしよう。こんな温かい人たちがいる国で暮らしてみたい、そのうち子供ができたんだと。そんな話、日本で言っても誰も信じませんよと言ったら、信じなくてもいいから貫き通せと。言われた通りやらなければ殺されるかもしれない。小泉さんが来た時にあの大ウソをつかなければならないのかと気が重かったけれども本格的な調査が始まると拉致を認めてもよいとなった。そういう経緯で私たち夫婦は日本に一時帰国しました。政府間の約束でまた北朝鮮に戻らなければならなかったが、兄が非常に強硬に反対し、私たちは猛烈な兄弟喧嘩をしました。結局、兄の意向に従い、そして皆さんのおかげで現在を迎えています。

今、北朝鮮に残されている人たちは、私たちが日本に帰ったことを知っています。十三年も待たされています。日本の高齢のご家族のことを考えれば、もう時間はありません。

平成二十六年度秋の旅行会

お伊勢参りの会

支部会員の生涯学習研修の旅行会は、四回目となった。今回は「お伊勢参りの会」として昨秋十一月十六日、十七日、一泊二日で催行した。

第一日目

太古の昔から森や海と共生してきた日本人の心の故郷の「お伊勢さん」へいざ出発だ。東京発東海道新幹線ひかり五〇七号に五人が乗車し、品川駅で一人が合流、総勢六人の旅となった。

名古屋駅で近畿鉄道名伊乙特急に乗り継ぎ伊勢市駅で下車した。駅前から外宮参道を歩き、地元名店「めん処中むら」にて玉とじ伊勢うどんや冷やし伊勢うどんを食した。外宮（豊受大神宮）を参拝の後、まがたま池のほとりにある「せんぐう館」に入場し神宮の式年遷宮の伝承をつぶ

今やっている日朝交渉が「いや、今回は残念でした、次頑張りましょう」では絶対に駄目なのです。大きな支援と後押しをぜひお願いします。（文責Ⅱ編集委員会）

さに見聞した。外宮入り口前のバス停留所から貸切状態のバスに乗り二十分で内宮前にて下車。参拝客でにぎわう宇治橋を渡り玉砂利を踏みしめて内宮（皇大神宮）を参拝した。五十鈴川原で小休止後、おはらい町を散策し伊勢名物「赤福」を宇治茶とともに食した。

伊勢市駅から宿泊地である松坂駅で下車し、タクシード「ホテルルートイン松坂東」に到着した。夕食の宴会は料理割烹「花車」で大久保氏の叙勲祝いとともに十分飲食した。ホテルに戻り、カラオケに行く人、明日への英気を養うため就寝する人とわかれて第一日を終えた。

第二日目

和食の朝食を頂き、タクシード



で出立した。松坂駅で所用のある大久保氏を送り、一行は特急に乗車し、鳥羽駅を目指した。

徒歩にてミキモト真珠島へ入島後、養殖真珠第一号記念碑前で集合記念写真を撮り、真珠博物館を見学した。海女スタンダードから昔ながらの白い磯着姿の海女たちが素潜りでありあや貝を採る実演を見入った。昼食処が店じまいのため、急遽近くの寿司割烹「大坂屋」でビールとお造り定食を味わった。駅に向かう途中、土産物を買った。鳥羽近鉄特急に五人が乗車し、名古屋駅で岡山に行く人と別れ、四人はひかり五二四号に乗り継ぎ東京駅にて解散した。

〔鈴木雅幸 記〕

二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックまであと五年だ。二〇二五年には中央大学は創立一四〇年を迎える。過去を顧みて、現状を検証し、明るい未来を展望する。しかも、我が母校中央大学は、過去の実績にあらをいかしていることは許されない。「慣性の法則」を打ち破ることがどうしても必要である。

オーストリア出身の心理学者アドラーが言うように、「目



「カナダからの便り」 日本の国民性を考える

石川善次郎

日本人の国民性を考えてみたいと思う。国民性とはその国に住む人々のDNAである。日本人の先祖を持ち、日本に生まれ育った者には日本人としてのDNAがある。これはどんなにしても拭い切れないものである。このDNAには長所も短所もある。長所は見ても快いものだが、短所はや

かもすると醜いものである。私はカナダに住んで四十八年経ち、日本人のDNAに加えてカナダ人のDNAが強くなってきた。つまり、ようやく日本を第三者的な立場で見えるようになってきた。それは一口に言えば、日本人の先祖を持ち日本生まれではあるが、日本人離れを感じるよう



10年後の中央大学

夢を紡ぐ大学を目指して

中央大学常任理事 松丸 和夫

標が変われば、態度も変わるであろう。もはや古い習慣や態度は不要になり、彼の新しい目標に適した新しいものが古いものにとって代わるであろう。」（『人生の意味の心理学』）。一言で言うと、意思決定と実行のスピードが今、

地應用ノ素ヲ養フ」を出発点に、「グローバルな視野と実地に貢献する人材の育成」というミッションを定め、その下に五つのビジョンとそれらを実現するために八つの取り組みを宣言した。

それら八つの取り組みはずべて、「力」という文字で表現されている。すなわち、【教育力】【研究力】【社会貢献力】【国際力】【総合学園力】【ブランド力】【キャンパス力】【経営力】の八つである。

現在、理事長の諮問を受けて、総合企画委員会のもとで秋までに中長期事業計画策定作業を夏休み返上で続けている。同時に、評議員に対しては、この中長期事業計画についてのご意見を受け付けている最中である。また、教授会に対しても、ご意見を頂戴しているところである。

オリンピックでの本学出身選手の活躍や、箱根駅伝の復活、キャンパスの都心展開、法曹・会計人試験等での躍進、社会に有為な人材のいっそうの輩出、新学部・学科の創設等、夢を紡げる大学を目指したい。

（文京区支部会員）

になってきた。と同時に、日本人の良さも見えるが、短所つまり悪いDNAも見えるようになってきた。そうすると非常に気になることが増えてくる。国会討論の場で質疑応答をする中では悪いDNAが露出されて醜いものである。

現在の安倍総理は非常に辛抱強く、同じ質問に重々丁寧に答えているが、義務を怠って寝ていたかのように、全く同じ質問を繰り返す議員もいる。同様の例は他の場面でも

日本人の中に多々見られる。日本人が封建時代から民主主義の世界に気持ちを切り替える時には多数の血を流した日本人がグローバル化を導入するに当たっては新日本人のDNAを生み出さなければならない。そのためには（井の中の蛙）から抜け出して世界観を変えなければならない。現代の若者層がグローバル化に苦闘しているが、その時に真の日本人が生まれるのだと思う。（42年会・白門文京）

ある一家の会話

ママ：「スパ！」

パパ：「ボウリング！」

ママ：「ボクシング！」

ママ：「ショッピング！」

パパ：「野球観戦！」

ママ：「ホテルでディナー！」

ボク：「遊園地！」

ボク：「ヒーローショー！」

赤ちゃん：「パブー！！」

まともならなくても大丈夫。
東京ドームシティなら、
行きたいところ全部あります。
家族みんなが楽しい東京ドームシティ。

東京ドームシティ わくわくダイヤル **03-5800-9999**

東京ドームシティ 公式WEBサイト ▶ 東京ドームシティ で 検索

叙勲祝い兼忘年会

蟹フェアーで盛大に

白門文京忘年会は、昨年十二月九日、前年と同じ東京ドームホテル三階の「リラッサ」で開催。今回は秋の叙勲受章者である大久保治男元当会支部長と戸井田房治元文京区議会副議長の叙勲祝いを兼ねて開催。三十余名の参加者は両氏受章の喜びを分かちつつ、テーブル山盛りのかに・蟹・カニ・料理と会員持ち寄りのみやげ品を前に大いに盛り上がり、年忘れ忘年会兼叙勲祝賀会は楽しく解散した。



叙勲を祝うノボリを前に

白門文京桜会報告

文京区支部恒例の桜会は三月二十九日、文京区内にある都内有数の大名庭園の駒込・



六義園のしだれ桜

六義園で開催。今年は大雪の洗礼もなく、何時になく早い開花宣言に誘われ、朝早くから桜を愛でる人々で大賑わい。我が文京区支部の紳士淑女二十余名は正門前に掲げた白

門文京のノボリの下に集結。ガイドさんの案内で回遊式泉水庭園を一周した。数十年ぶり、数年ぶり、初めて訪れた人と様々な参加者たちは意義ある園遊会を堪能した。花見のあとの二次会は、大久保、玉井ご夫妻推薦のイタリアレストラン「フロラ・ダイ・マール」で大宴会。ご機嫌で楽しく散会した。特別参加の埼玉鳩山町・池田様、台東区・宇田川様、茨城石岡町・杉原様、船橋市・千坂様、ご参加有難うございました。(〓桜会世話人・文京区の花咲爺さん・松沼)

七月二十五日、日帰りで故郷南相馬市に帰り墓参を兼ねて『相馬野馬追』を妻と共に見物してきました。私は、二歳から十二歳まで福島県相馬郡太田村(現南相馬市原町区)の父の実家に疎開しておりま

した。国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、相馬氏の祖といわれる平将門が原野に放し

え常に文武両道の鍛錬・研鑽に努め、また、野馬追行事は幕府の厳しい監視の目を逃れる格好の隠れ蓑として、武術の訓練を図る場となったと言われています。

武士道・御仕法を実感

『相馬野馬追』を見物

大和田 實

今年全線開通した常磐自動車道を通り南相馬まで千葉の我が家から四時間で実家に到着。墓参の後、妻の実家で義兄夫婦の変わらぬ大歓迎を受け、鹿島地区での出陣式及び

たが、以降、年を追うごとに参加騎馬数が増え、今年は四百五十余騎が参加したとのことです。空前の災害を前向きに捉える故郷の武士道、御仕法(二宮尊徳の興国安民法〓



相馬野馬追・武者行列

報徳精神)を実感した『相馬野馬追』でありました。(幹事・昭和42年卒)

屋形船遊覧



かつては百万都市江戸の台所を支えた豊饒の海江戸湾、戦後の一時期乱開発、河川汚染等で魚が消えかかったが、ハマグリ収穫、アユの大量遡上、海水浴復活等々、江戸前ファンにはうれしい便り。そこで、帰って来た東京湾で納涼屋形船遊びの一夜。熱帯の夜、レインボーブリッジ・東京湾のネオン夜景の中で冷たいビール・憩いのひととき。



屋形船船内

白門文京と42年会の面々は昨夏八月二十六日、柳橋際の船宿・野田屋から大川へ。心地よい川風の中、船内は刺身・天ぷら、歌い放題飲み放題。野口会長肝いりで向島からの来客二人の唄と踊りで大いに盛り上がった一夜でした。

学員会会報コンテスト 『白門文京』入賞

中央大学のOB会組織、学員会は全国238支部で構成されていますが、各支部発行の第一回会報コンテストにおいて、『白門文京第12号』は第3位に入賞し、賞金3万円を獲得しました。

表彰式は五月十六日(土)の定時協議員会・定時学員総会当日行われました。

会報『白門文京』は今後とも定期発行と内容充実に努めてまいりますので、引き続き会員各位のご協力をお願いいたします。

発行・編集責任者 野口昇兵・松沼茂



東京ドーム野球会

久々にジャイアンツ快勝

白門文京恒例行事「熱帯の夜、ジャイアンツの中大出身・阿部慎之助、亀井、澤村選手を応援しつつ併せて冷たいビールを飲む」というビール会社関係者にとっては嬉しい企画だが、ビール消費の程度は母校出身選手の活躍と試合内容にもよる。

さて今年の巨人だが、選手の要である阿部慎之助の元気の無さに右にならえと打線がぱっとせず、観戦の八月十八日の前日までの成績は阪神、ヤクルトの後やっと3位という体たらく。しかし今日は見違えるような躍動感がグラウンドを覆った。

伝統の巨人×阪神戦という好カードとあって、場内は超満員。試合は、白門文京応援団に加えて都区内支部・42年会の友情応援団からなる二十四席の「白門応援団」の熱い声援にあって、巨人が11安打、8対1で久々の快勝。期待の阿部慎之助・亀井もそれなりの活躍を見せ、ビール売り上げに大貢献の白門大応援団は、足取りも軽く帰途についた。



ドーム球場を埋めた？白門大応援団！

ガンバレ 箱根駅伝

年の始めは箱根から……今や大晦日の紅白歌合戦を超える国民的行事の箱根駅伝。紅白が男女の戦いなら、箱根は大学同士の熾烈な戦場だ。

かつて六連覇を含め、最多優勝・最多出場を誇り圧倒的箱根の王者だった中央大学が危ない。今年の最終区大失速を含め、三年続けてシード落ちの惨敗に終わった。

シード落ちを含め関東の諸大学は立川予選会に廻り、上位十校が出場権を得るが、各校は箱根出場に全力投球しており、生半可な努力では予選は通らない昨今だ。十月の予選会まであとわずか。ここで

後れを取るようなら、大学・監督・選手・関係者への大喝くらいいでは済まない非常事態。母校の未来が懸かる立川予選会、全国の母校駅伝ファンは酷暑の中で胃が痛い毎日を送っている。(「箱根駅伝を強くする会」文京地区)



白門から白門へ・小田原中継所

白門文京の



白門文京は一年を通じてさまざまな行事を行っております。

これからの主な行事

○納涼屋形船の会

9月10日(木) 42年会と共催/浅草橋・野田屋

○都区内支部総会

10月10日(土)

○第24回中央大学ホームカミングデー

10月25日(日) 多摩キャンパス・全員参加で豪華景品を当てよう。

○秋の一泊旅行会

金沢北陸新幹線の旅

11月8日(日)・9日(月)

費用約5万円 申し込み締切は9月20日

○グルメ忘年会

12月上旬東京ドームホテル

○新年箱根駅伝応援(予定)

1月2・3日 大手町会

○桜を見る会

3月下旬

○その他、幹事会、会報発行、大学・学員会への寄与、他

支部行事への参加、臨時会合等

会員ニュース

(敬称略)

○新会員

宮崎 敦

○ご逝去

飯塚久子(元学員会副会長)

7月26日東京プリンスホテルの偲ぶ会に有志参加

中川浩治(前支部長)

お通夜 8月19日有志参加

土屋一男(南甲倶楽部)

お通夜 10月20日有志参加

生田時秀

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>監査役 土屋頼子</p> <p>本社 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目三〇番八号 TEL 〇三(五六八九) 五二五二(代)</p> <p>(中央大学学員日華友好会副会長)</p> | <p>株式会社 東京ドーム</p> <p>代表取締役 社長 久代信次</p> <p>〒112-8575 東京都文京区後楽一丁目三番 電話 〇三(三八二二) 二二二(大代表)</p> | <p>学校法人 中央育英学園 学校法人 東京育英学園</p> <p>理事長・学園長 野口 昇兵</p> <p>〒171-0022 東京都豊島区南池袋二丁目一六 電話 〇三(五九九六一) 一九三二 www.ikuiegakuen.ac.jp</p> | <p>駒沢大学名誉教授 武蔵野学院大学名誉学長</p> <p>白門文京 名誉会長 大久保 治男</p> <p>本宅 彦根城内井伊直弼学園所埋木舎 (国特別史跡) 自宅 〒112-0011 東京都文京区千石二丁目一六四 TEL 〇三(三九九四二) 八〇四四</p> |
| <p>代表取締役 亀谷卓夫</p> <p>本社 〒112-0011 東京都文京区千石四丁目一四一三 TEL 〇三(三九四六) 四六三二(代) FAX 〇三(三九四六) 四八八三</p> | <p>東京都知事免許(13)第一八九三七号 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員</p> <p>株式会社 駒込不動産</p> <p>代表取締役 奥野光績</p> <p>本社 〒113-0021 東京都文京区本駒込二丁目一番八号 支店 〒170-0003 東京都豊島区駒込二丁目十五番八号 電話 代表(三九一八) 五四五一(番) FAX 駒込駅 三九一〇―五五五―一</p> | <p>地方競馬を応援しています 地方競馬全国協会</p> <p>理事長 浮田秀則</p> <p>〒106-1639 東京都港区麻布台二丁目一 電話 〇三(三五八三一) 六八四二(番) FAX 〇三(三五八三一) 〇四八一(番) E-mail: fukita@marukaba.co.jp</p> | <p>倉田金三郎</p> <p>〒170-0002 東京都豊島区巣鴨一丁目二三 電話 〇三(五九八二) 九四八二(番)</p> |
| <p>税務相談・経理相談 経営相談・税務申告 松田茂税理士事務所</p> <p>税理士 松田 茂</p> <p>〒114-0001 東京都北区東十条四丁目一四 キャピタルライフ東十条一〇四号室 TEL 〇三(三九九一) 八八四七(代) FAX 〇三(三九九一) 六一四八 メール matsuda@k.kaitane.jp</p> | <p>ART CLEAR</p> <p>株式会社 アートクリア 専務取締役 佐久事務所 田村 悟</p> <p>TEL 090-5583-9663 FAX 0267-32-2612 〒385-0021 長野県佐久市長土呂1690-9 E-mail: ta-ankra.ya3to621ko@crest.ocn.ne.jp</p> | <p>弁護士 大野雅樹</p> <p>四谷タウン総合法律事務所</p> <p>〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目一七 松山ビル三階 電話 〇三(五三二二) 七二二七(直) 〇三(五三二二) 七二二七(代) FAX 〇三(五三二二) 七二二八 E-mail: ohno@yotsuya-town.jp</p> | <p>中央大学</p> <p>学員会 白門45会支部 支部長 学員会 幹事</p> <p>相場有二税理士事務所 所長 相場有二</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目25番9号 ブラウンハイツ本郷203 TEL (03) 3811-8302 FAX (03) 3811-8326 E-mail: aiba-jimusy@ac.auone-net.jp</p> |
| <p>株式会社 松じん 松沼 茂</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二十六番八号 電話 〇三(三八一四) 四一七〇(五九番) FAX 〇三(三八一四) 三八一四(一〇番) URL http://www.matsu-shin.jp/ メール shigen@matsu-shin.jp</p> <p>和紙工芸品、民芸品の企画・製作</p> | <p>TRIASSIC</p> <p>各種印刷物、ホームページ等 販売促進ツールの企画・制作</p> <p>トライアシック株式会社 竹本 方英</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階 TEL: 03-3556-6892 FAX: 03-3556-6894</p> | <p>司法書士 染野郁郎</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽2-21-20 TEL 03-5805-1591 FAX 03-5805-1592</p> | <p>一般社団法人落語協会 落語家 三代目桂やまと</p> <p>〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-26-1 TEL&FAX 03-6458-2606 携帯 090-1429-0552 E-mail info@yamato3rd.com http://yamato3rd.com/</p> |
| <p>編集後記 2020年開催・5年後の東京五輪は日本が世界にその存在感を示す絶好のチャンスだが、 新国立競技場・シンボルマーク等の迷走・ゴタゴタは、日本国民ばかりでなく、列島に点在 する、御嶽山、口永良部島、桜島の火山達も怒っている。頼むぞ、東京五輪準備！ (松)</p> | <p>編集委員 松沼 茂、加藤康人、鈴木雅幸 田村 悟、相場有二、利根川伸行</p> | | |